

(参考様式6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）

事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年 9月20日作成

活性化計画名	興部町豊野地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
北海道・興部町	15561	1	平成24～28年度	平成24～26年度
活性化計画の区域				
当該地区は総面積8,415haうち農林地面積は7,552haを占め、全就労者のうち農業従事者が74.6%を占めている。又、当該地区は都市計画区域も有さず、市街地を形成している区域以外の地域である。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B/A	備考
定住人口の確保	5.17%	10.84%	209.67%	

(コメント)

営農飲雑用水施設の整備により、地域に安全・安心・安定した水を供給することにより、良質な生乳の生産に寄与し、安定経営が行われ離農者の抑制等により当初の計画より全体としては転入、転出口の動きは少なかったものの目標を達成した。

(記入例) 交流人口の増加の場合

目標値 A=(目標値/現状値)×100-100、実績値 B=(実績値/現状値)×100-100

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
営農飲雑用水施設	機械・電気計装設備・中央監視システム一式		興部町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
興部町	平成24年度	平成26年度	平成27年3月25日
事業の効果			
営農飲雑用水施設を整備・機能強化することにより、安定した良質な水を供給することができるようになり、良質な生乳の生産に繋がっている。			

3 総合評価

本事業で実施された、営農飲雑用水施設整備により、施設の機能強化が図られ良質な水を供給することが出来るようになり、良質な生乳の生産が行われ、農業経営の安定が図られそれに伴い農業従事者の離農の抑制、更に新規就農などの定住が図られた。

4 第三者の意見

本事業の実施により、今後の地区内における酪農経営の安定化に寄与すると共に、地域において持続可能な仕事を確保することにつながり、離農抑制、農業後継者確保、さらに新規就農の定住促進の効果が期待できる。

興部町農業委員会 事務局長 西川利幸